

LESSON NOTES

Advanced Audio Blog S5 #16 Top 10 Japanese Historical Figures: Prince Shōtoku

CONTENTS

- 2 Kanji
- 2 Kana
- 4 Romanization
- 5 English
- 6 Vocabulary
- 6 Sample Sentences
- 7 Grammar

16

KANJI

1. 聖徳太子
2. 今回紹介する歴史上の人物は、聖徳太子。今から1400年以上も昔の政治家ですが、日本人で知らない人はいないと言っても過言ではありません。
3. 聖徳太子は、10人の話を同時に聞き、的確に理解し、それぞれの人に適切な助言を与えることができたという伝説を残しています。この逸話が広く知られていることから、同時に何人もの人に話かけられた時に、「私は聖徳太子じゃないんだから、一人ずつ話してよ」等と、その名が引き合いに出されることもあります。
4. 日本のお札には人物の肖像が印刷されていますが、最も多くお札の肖像に描かれたのは、聖徳太子で、なんと現在まで7種類のお札に登場しているそうです。このことから、いかに聖徳太子が尊敬されているかが分かりますね。
5. では、なぜこんなにも聖徳太子は日本人から認められているのでしょうか？
6. 聖徳太子が行った大きな仕事の一つに、冠位十二階という制度の導入があります。これは、日本で初めて、生まれた家柄にとらわれずに、優秀な人材を登用しようと試みた制度です。当時、身分は生まれつき決まっており、政治も一部の血縁集団による世襲制がほとんどであったことを考えると、大変画期的な制度と言えるでしょう。
7. また、聖徳太子は、仏教を使って国を治めようと考え、現在の奈良県に法隆寺を建立したり、当時、先進国であった隋（ずい・現在の中国）から進んだ文化や制度を積極的に輸入しようと努めました。
8. 日本文化と政治の礎を作った人物として、聖徳太子は1400年以上経った現在も多くの日本人から尊敬をあつめているのです。

KANA

CONT'D OVER

1. しょうとくたいし
2. こんかいしょうかいするれきしじょうのじんぶつは、しょうとくたいし。いまから1400ねんいじょうもむかしのせいじかですが、にほんじんでしらないひとはいないと いても かごん では ありません。
3. しょうとくたいし は、10にん の はなし を どうじ に きき、てきかくに りかいし、それぞれの ひとに てきせつな じょげんを あたえる ことが できた という でんせつを のこしています。この いつわが ひろく しられている こと から、どうじに なんにんもの ひとに はなしかけられた ときに、「わたしは しょうとくたいし じゃないんだから、ひとりずつ はなしてよ」など と、そのなが ひきあいに だされる ことも あります。
4. にほんの おさつには じんぶつの しょうぞう が いんさつ されています が、もっとも おおく おさつの しょうぞうに えがかれたのは、しょうとくたいし で、なんと げんざいまで 7しゅるいの おさつに とうじょうしている そうです。この こと から も、いかに しょうとくたいしが そんけいされているか が わかります ね。
5. では、なぜ こんなにも しょうとくたいし は にほんじんから みとめられている の でしょう か？
6. しょうとくたいしが おこなった おおきなしごとの ひとつに、かんいじゅうにかい という せいどの どうにゆうがあります。これは、にほんで はじめて、うまれた いえがらに とらわれずに、ゆうしゅうな じんざいを とうよう しょうと ころみた せいど です。とうじ、みぶんは うまれつき きまっており、せいじも いちぶの けつえんしゅうだん による せしゅうせいが ほとんどで あったことを かんがえると、たいへん かつきてきな せいど と いえる でしょう。

CONT'D OVER

7. また、しょうとくたいしは、ぶつきょうを つかって くにを おさめよう と かんがえ、げんざいの ならけんに ほうりゅうじを こんりゅうしたり、とうじ、せんしんこくで あった すい(すい・げんざいのちゅうごく) から すすんだ ぶんか や せいど を せっきょくてきに ゆにゅうしよう と つとめました。
8. にほんぶんか と せいじ の いしずえ を つくった じんぶつ と して、しょうとくたいし は 1400ねん いじょう たった げんざいも おおく の にほんじん から せんけい を あつめている の です。

ROMANIZATION

1. Shōtoku Taishi
2. Konkai shōkai suru rekishijō no jinbutsu wa, Shōtoku Taishi. Ima kara 1400 nen ijō mo mukashi no seijika desu ga, nihonjin de shiranai hito wa inai to itte mo kagon de wa arimasen.
3. Shōtoku Taishi wa, 10 nin no hanashi o dōji ni kiki, tekikaku ni rikai shi, sorezore no hito ni tekisetsu na jogen o ataeru koto ga dekita to iu densetsu o nokoshite imasu. Kono itsuwa ga hiroku shirarete iru koto kara, dōji ni nannin mono hito ni hanashi kakerareta tokini,(watashi wa Shōtoku Taishi ja nai n da kara, hitori zutsu hanashite yo) nado to, sono na ga hikiai ni dasareru koto mo arimasu.
4. Nihon no o-satsu ni wa jinbutsu no shōzō ga insatsu sarete imasu ga, mottomo ooku o-satsu no shōzō ni egakareta no ha, Shōtoku Taishi de, nanto genzai made 7 shurui no o-satsu ni tōjō shite iru sō desu. kono koto kara mo, ikani Shōtoku Taishi ga sonkei sarete iru ka ga wakarimasu ne.
5. Dewa, naze konna ni mo Shōtoku Taishi wa Nihonjin kara mitomerarete iru no deshō ka?

CONT'D OVER

6. Shōtoku Taishi ga okonatta ookina shigoto no hitotsu ni, kani juuni kai to iu seido no dōnyū ga arimasu. kore wa, Nihon de hajimete, umareta iegara ni torawarezu ni, yūshū na jinzai o tōyō shiyō to kokoromita seido desu. Tōji, mibun wa umaretsuki kimatte ori, seiji mo ichibu no ketsuen shūdan ni yoru seshūsei ga hotondo de atta koto o kangaeru to, taihen kakkiteki na seido to ieru deshō.
7. Mata, Shōtoku Taishi wa, bukkyō o tsukatte kuni o osameyō to kangae, genzai no nara ken ni Hōryū-ji o konryū shitari, tōji, senshinkoku de atta Zui(Zui. genzai no Chūgoku) kara susunda bunka ya seido o sekkyokuteki ni yu'nyū shiyōto tsutomemashita.
8. Nihonbunka to seiji no ishizue o tsukutta jinbutsu toshite, Shōtoku Taishi wa 1400 nen ijou tatta genzai mo ooku no nihonjin kara sonkei o atsumete iru no desu.

ENGLISH

1. Prince Shōtoku
2. The historical figure I'll introduce this time is Prince Shōtoku. He is a politician from a long time ago—over 1,400 years ago today, but it's no exaggeration to say that there is not a single person in Japan who doesn't know who he is.
3. Prince Shōtoku left behind the legend that he was able to listen to ten people speaking at the same time, understand them all accurately, then give each one of them, in turn, pertinent advice. Because this anecdote is widely known, when someone is spoken to by several people at once, sometimes his name is used in a comparison—"I'm not Prince Shōtoku, so speak one at a time!"
4. On the Japanese currency notes there are printed people's portraits, but the person who is most featured is Prince Shōtoku. At the present time, he has appeared on as many as seven types of notes. From this, too, you understand just how much Prince Shōtoku is respected.
5. So, why is Prince Shōtoku so appreciated by the Japanese people?

CONT'D OVER

6. One of the great tasks that Prince Shōtoku performed was the introduction of the system known as the "kan'i jūnikai," "twelve tiers of positions." This was the first system in Japan that let talented men of intelligence try for promotion regardless of the status of the family into which they had been born. If you consider that at the time, one's social position was decided at birth and governments were almost totally composed of a small group of people related by blood in a hereditary system, you could call this an extremely groundbreaking system.
7. Furthermore, Prince Shōtoku thought to use Buddhism to govern the country; he built the temple of Hōryū in the present-day Nara prefecture, and he actively endeavored to introduce culture and systems from the Sui dynasty (present-day China), which was an advanced country by the standards of the time.
8. As the man who created the cornerstone of Japanese culture and government, even now, 1,400 years later, Prince Shōtoku garners the respect of many Japanese people.

VOCABULARY

Kanji	Kana	Romaji	English
礎	いしずえ	ishizue	foundation, cornerstone
先進国	せんしんこく	senshinkoku	developed country
画期的	かっきてき	kakkiteki	groundbreaking
世襲制	せしゅうせい	seshūsei	hereditary system
血縁集団	けつえんしゅうだん	ketsuen shūdan	kin group
登用する	とうようする	tōyō suru	to appoint, to assign
引き合いに出す	ひきあいに出す	hikiai ni dasu	to cite something as an example
的確に	てきかくに	tekikaku ni	precisely, accurately
逸話	いつわ	itsuwa	anecdote
過言	かごん	kagon	saying too much, exaggeration

SAMPLE SENTENCES

<p>この博物館が、これからの平和の礎になることを願っている。</p> <p><i>Kono hakubutsukan ga kore kara no heiwa no ishizue ni naru koto o negatte iru.</i></p> <p>We hope that this museum becomes a cornerstone of peace from now on.</p>	<p>日本は先進国の仲間入りをした。</p> <p><i>Nihon wa senshinkoku no nakama iri o shita.</i></p> <p>Japan joined the developed countries.</p>
<p>パソコンは当時画期的だった。</p> <p><i>Pasokon wa tōji kakkiteki datta.</i></p> <p>The personal computer was a groundbreaking product at the time.</p>	<p>当時の日本の政治は、世襲制を採用していた。</p> <p><i>Tōji no Nihon no seiji wa seshūsei o saiyō shite ita.</i></p> <p>Politics in Japan at that time employed a hereditary system.</p>
<p>この地方は、血縁集団で村が構成されている。</p> <p><i>Kono chihō wa ketsuen shūdan de mura ga kōsei sarete iru.</i></p> <p>In this area, villages are composed of kin groups.</p>	<p>重要な職に女性を積極的に登用する。</p> <p><i>Jūyō na shoku ni josei o sekkyokuteki ni tōyō suru.</i></p> <p>We actively appoint women to important posts.</p>
<p>いつも母親は姉のことを引き合いにして、私のことを叱る。</p> <p><i>Itsumo hahaoya wa ane no koto o hikiai ni shite watashi no koto o shikaru.</i></p> <p>My mother always holds my sister up as an example, and scolds me.</p>	<p>あの監督は、どんなときも、的確に指示することができる。</p> <p><i>Ano kantoku wa donna toki mo tekikaku ni shiji suru koto ga dekiru.</i></p> <p>That manager can give accurate instructions whatever the situation.</p>
<p>感動的な逸話を聞いた。</p> <p><i>Kandōteki na itsuwa o kiita.</i></p> <p>I heard a touching anecdote.</p>	<p>彼が、日本のプロ野球選手の中で一番だと言っても過言ではない。</p> <p><i>Kare ga Nihon no puro yakyū senshu no naka de ichi-ban da to itte mo kagon de wa nai.</i></p> <p>It is not too much to say that he is the best baseball player in Japan.</p>

GRAMMAR

Motoko: オーディオブログ第5シーズン第16課 「聖徳太子」

Tomoyuki: こんにちは。ともゆきです。

Motoko: こんにちは。もとこです。16課から25課は、私、もともとともゆきさんと、担当していく事になりました。

Tomoyuki: 僕達の自己紹介を入れたボーナストラックがありますので、是非、JapanesePod101.comのサイトにきて、ボーナストラックを聞いてみてください。

Motoko: さて、16課から25課では、歴史上の人物を10人紹介していきます。

Tomoyuki: 今回紹介する人物は誰ですか？

Motoko: 聖徳太子です。Tomoyuki: では、聞いてみましょう。

ブログ本文

Tomoyuki: もとこさんは歴史得意でしたか？

Motoko: それが、あまり得意じゃなかったんです。どうしても人の名前や事件の年号を覚えるのが苦手で、テストではいつも苦労してきました。ともゆきさんはどうですか？中学校とか高校の日本史の授業はお好きでしたか？

Tomoyuki: 僕は最初は苦手でしたが、まんがで日本史を勉強するという本がありまして、それを夢中で読んでいたらいつの間にか得意になっていました。

Motoko: それはいい勉強方法ですね。今回のブログで紹介した、「聖徳太子」はとても有名な人ですよ。

Tomoyuki: そうですね。日本で教育を受けた人なら、絶対に知っていると思います。

Motoko: そうですね。ブログの中でもあるように聖徳太子のお札は有名ですが、ともゆきさん、ご覧になったことはありますか。

Tomoyuki: 昔の日本の千円札ですね。小さい頃に一度だけ、祖母に見せてもらったことがあります。

Motoko: 私はテレビや教科書では見たことがありますが、本物は見たことがありません。お札より肖像画の方がよく知っている人が今は多いかもしれませんね。

Tomoyuki: そうですね。ブログには「聖徳太子は10人の話を同時にきいた」という話がありましたが、本当にそんなこと出来る人がいたなんてすごいですね。

Motoko: 本当ですね。でもちょっと気になって調べてみたんですが、実は10人同時に聞いたのではないという説があるんだそうです。

Tomoyuki: そうなんですか。実は5人とかだった・・・ですか。

Motoko: 実は1人だったのかもしれませんが。調べたところによると、10人の人の相談を別々に聞いた後でそれぞれの人に適切なアドバイスをしたんだそうですよ。

Tomoyuki: それじゃあ、何人もの話を聞く能力というよりかは、それぞれの話を覚えている記憶力の方がよかったですってことなんですかね。

Motoko: そうみたいなんですね。でも10人分の話覚えていたにしても、すごい人ですけどねー。

Motoko: それから、「聖徳太子は奈良県に法隆寺を建てた」とブログでは紹介されていましたが、ともゆきさんは法隆寺は行ったことがありますか。

Tomoyuki:実は近くまで行ったことはあるんですが、中に入ったことはないんです。

Motoko:おー、おいしいですね。

Tomoyuki:もとこさんはどうですか？

Motoko:私は中学校の修学旅行で行きました。五重塔という建物や中にある仏像がきれいで印象的でした。ブログには書いていないのですが、法隆寺は世界で最も古い木造建築・・・つまり、木で作られた建物なんですよ。

Tomoyuki:ユネスコの世界遺産にもなっていますので、リスナーの皆さんで、関西地方に旅行に行く機会がある人はいつてみるといいと思います。JR京都駅から奈良線の特急で一時間くらいです。

Motoko:と、ということで、今回は「聖徳太子」という人物を紹介しました。日本の歴史上の人物に少しでも興味を持ってもらえたらなと思います。

Tomoyuki:これからも有名な人物、その人に関係する名所など紹介していきますので、次回もお楽しみに。それでは、また。 Motoko:さようなら。